

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針等>

1. 持続可能なまちづくりと環境との共生
2. 豊かな人財企業づくりと快適で働きやすい職場づくり
3. 誠実・公正な企業活動の推進と社会から信頼される企業づくり

<今期のSDGsに関する重点的な取組、指標及び実績>

三側面	取組の状況	前期の指標	実績
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	年次有給休暇取得促進及び時間外労働時間削減によるワークライフバランスの充実	年次有給休暇取得日数【現状】8日【目標】15日	11日
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	港湾工事における、環境配慮型船舶の活用促進	環境配慮型起重機船の導入【現状】1隻【目標】2隻	2隻目造船達成
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	エアコン使用基準の設定及び節電による電気使用量の削減	電気使用量の削減 【現状】本社 66,185k 本店 53,814kw【目標】本社 64,000k 本店 52,000kw	本社 60,881kw、本店 51,262kw

- ・「取組の状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組の実施状況やと指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

<今期の評価>

主に3項目の目標を掲げ取り組んできたが、所有している船舶においては2隻とも環境配慮型起重機船を導入することができた。また、本社・本店どちらでも電気使用を節約し、削減量は目標を達成することができた。しかし年次有給休暇については、休暇数は増えたものの目標15日には達成することができなかった。来期については更なる電気使用量の削減と年次有給休暇取得の促進を目指していく

- ・SDGsの取組全体について、今期の振り返りや来期の展望などを記載してください。

<次期のSDGs達成に向けての重点的な取組、及び指標>

三側面	SDGsに関する重点的な取組	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	年次有給休暇取得促進及び時間外労働時間削減によるワークライフバランスの充実	年平均有給休暇取得日数 【現状】11日【目標】15日
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	エアコン使用基準の設定及び節電による電気使用量の削減	電気使用量の削減 【現状】本社 60,881kw 本店 51,262kw 【目標】本社 58,000kw 本店 48,000kw
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	県内新卒採用を積極的に行い、地域雇用の促進・維持を図る。	毎年、県内新卒者を3人以上採用

- ・「SDGsに関する重点的な取組」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。